

とくべつこうえん★りらくすでいと★こよいひとときしゅうじとともに！

# 神風陣羅男独演会

ワンサカワンサカ集まったよ、はじまりはじまり 出演・向井修二 〈画家〉



（ところは神戸中山手通。ピッツァハウス びのつきお亭。いや集まりましたネ。可愛い子ちゃんに、あの子ちゃん、にきびのボンに、カッコイイ野郎ども。ときはころよい午後八時。オッー、待ってました、シュージさん。キッッ、どさくさにアンタツチャブルしないでヨッ）

（さてギター片手に爪弾く修二ちゃん。最近ヒットしてしもた「女と男」の震源地はコチラ。第二弾のクリーンヒットになるか。今宵はじめてお目見得する新作「ドウナッテンノカナ」。自作自演のとおっておきダヨ）

ポロン……。△ギター音▽

（修二、ここでニコッと女性ファンに微笑む）

ポロンノ、ポロンノ△ギター音▽

（修二、ここで男性諸君に、軽く会釈……）

ボン、ボンボン、ボン、ポボン、ボン

ボン、ボン、ボン、ボンボン△ギター音▽

（修二、ここでやさしく唄いだす……）

△ぼくの右手が キミのひざのうえ

キミの左手が ぼくの肩のうえ

ドウナッテンノカナ ドウナッテンノカナ

ドシタライイノ ドシタライイノ

ぼくの左足 がキミの肩のうえ

キミの右足が ぼくの顔のうえ

ドウナッテンノカナ ドウナッテンノカナ

ドシタライイノ ドシタライイノ

キミの右手が ぼくの鼻のアナ



△中央ギターで唄う修二▽

ぼくの右手が キミの?????

キミの左手が ぼくの?????

ドウナッテンノカナ ドウナッテンノカナ

ドシタライノ ドシタライノ

キミの腰が ぼくの顔のうえ

ぼくの頭が キミの胸のなか

ドウナッテンノカナ ドウナッテンノカナ

ドシタライノ ドシタライノ

ボンボンボン ボーン ボロンノ△ギター音▽

(……)(……)(……)「ラブボノ」アンコール(「エエゾオ」)

(神戸っ子の読者諸氏にもおかせたいが。まあそのうちに発売されたレコードでも買おうてチノダイ)

修二「ようこそ、レディス&ジェントルメン。ボクのために今宵は、ワンサカワンサカおつめいだいてありがとう。こちらの「びのつきを亭」のピッツァが売れないってボヤいているので、まあぼくの顔にみとれないでホドヨク食べて下さい。(笑)

何と今宵は、ボクに何を期待してか女性の数が、ヒジヨニ多い。ということはボクを心苦しくさせる(笑)男性の数も多いがコチラへ敵意にみちた面持ちで、ぼくをニラミながらグイグイとビールをあおっている。酒の酔でぼくからもうと思っているらしい。(笑)

神戸っ子のエディターが、いつもぼくが、リラックスインタビューでみんなをいじめているから、たまにはオマエサンがさかなになれエノと申しますので、ホンチャマ、いっちゃん、ぼくの得意とする「男ト女ト……社会」というテーマでやっかノ、というお粗末。ではまず「男ト女恋愛講座」どんどんしゃべりましょうノ」

チヨットまゆげのさがったイヤな感じの男「先生ノ現代の最高の恋愛はどんなもんじゃないですか」  
修二「それはですネ。ほんとーに、心底から、愛し愛され愛され、愛するようなの。最高だナ……△チヨッピリ淋しそうに▽」

キュートな髪の長い女の子「シュージさん。恋と愛とはうちがう？」  
修二「まず恋と愛とは字がちがう。恋には金がかかって、愛には金がかからない。ワカル？この深い意味を……」

(ニヤリ)

メガネをかけた女子大生「男が女のかわりをして女が男のかわりをしている社会現象をどう思われますか？」  
修二「ケッコロダネノ キミはほんとうにそう思ってる



のか、後一年たつとそんなものでないことがわかるよ」  
(ニヤツ)

フーテン風大学生「恋愛とアートは関係ありますかネ」  
修二「アートは関係ないけど、ハートに関係あります」  
(爆笑)

修二「じゃあ次に修二の恋愛相談といこう」

モサツとしたニキビ面の男の子「ボク10才も年上の彼女に恋をしたんだけど、どうすればいいでしょうか」

修二「キミがその人の年になるまで待ったらドオ」

令嬢風のツンとした女の子「恋をしても、音楽をきいても、ドライブしても、芝居をみても、料理をしてもタイクツなの？」

修二「彼女をジツとみつめて」「キミ。鏡の前で朝から晩まで、自分の顔を眺めたらタイクツなんかしないよ。キツッ」(令嬢風女性席をはなれる)(同シーン……)

黒ブチのメガネをかけたセールスマン「恋をする女の人と結婚をする女の人と、どんなところで判別すればいいでしょうか」

修二「それは、ムツカシイナ」

一人づつ結婚してみればドオ！一つやってごらん(笑)



△熱演する修二▽

30前後のやり手な感じの女性「恋をすることってどういうことなのかしら？」

修二「このドドガマ奴ノハドドガマとはトトカマの最上級」(拍手)

ロマンチスト風のスラリとした女性「修二先生は今、恋をなさっているんでしょう？」(興味シンシン……)

修二「恋ってこんなものなのかナ。でもそうなんだない」

一同「ドウナッテンノドシタライノ」(顔をそむける)ボロンノ(ギター音)

修二「それでは、これまたボクの最新作「イヤヨ・ソナコト」」(唄うから気分なおしてネ)ボロン ボン

ボン……。(ギター音)(拍手)(待ってました！)

「男がドアにカギをかけて 女はあわててバックをとった」イヤヨソナコト ナサツチャイヤヨノ

男がネクタイざりりととった 女はあわててトイレにいった イヤヨソナコト ナサツチャイヤヨノ

男が部屋の灯りを消した 女はあわててライターつけた イヤヨソナコト ナサツチャイヤヨノ

男は静かにベッドランプをつけた 女はいやいやベッドにかけた イヤヨソナコト ナサツチャイヤヨノ  
……

そしてしばらくして 男のいうことにや

「イヤダヨソナコト ナサツチャイヤダヨノ(爆笑)ボロンノ 修二「おそまつでした……」

(ピッ)(パチパチパチパチ)(キヤッノシユージサーンノ)(退場ナサツチャイヤヨノ)

——実況録字・編集部——

★向井修二実演予告

●港まつり十月二十二日(予定)サンチカ広場においてモダンジャズコンサート(ナベサダ・宮本直久クワレテット出演予定)ライティングプロデュース及演出担当

●大阪アストメカニクル(ゴゴークラブ)透明の階段音と同調設置製作オーブテン十月二十八日ニューOS劇場横

●●● うまいもんシーズンはスカイサントリーで ●●●

なごやかなムードで一品料理を！ 味の多様化時代に最適の北欧風バイキング料理を！



飲みほうだい (サントリー純生ビール クラウン・コーラ) + 食べほうだい！ <北欧風ヴァイキング料理> 1,200円<飲食税120円別>



なごやかな  
ムード  
すばらしい  
眺望！

一品料理もあります 三宮交通センタービル9階 TEL 33705~6

# スカイサントリー



味とムードのダナガーデンで昼食・夕食を！



RESTAURANT **DANA GARDEN "PUB"**

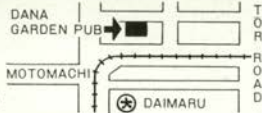
欧風料理とステーキ

ダナ・ガーデン・パブ

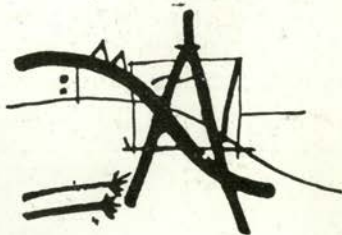
AM 11.00～AM 2.00まで

日・祭日PM 5.00より

三宮町3 三宮ビル地下②1810

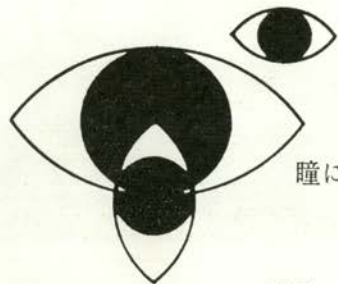


額縁絵画・洋画材料  
室内工芸品



末 積 製 額

三宮・大丸北  
トア・ロード  
③1309・6234



瞳に美しさを保つ  
スポーツに  
美容に  
現代の科学が生んだ  
コンタクトレンズ

日本コンタクトレンズ協会会員

国際コンタクトレンズ研究所

神戸市灘合区御幸通八丁目九ノ一（三宮駅前）  
神戸国際会館内 TEL (22) 8161・(23) 2570



羽アリを見たら  
危険信号



白アリ

一回全滅 十年間責任保証  
兵庫県環境衛生事業協会理事  
日本白アリ対策協会認定防除施工士  
神戸商工会議所会員

アイワ消毒株式会社

神戸市生田区中山手通3～52  
トアロード筋  
TEL (39) 8636 (33) 0854

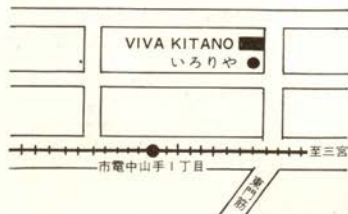
# STAND VIVA KITANO

神戸・生田区北野町3丁目53  
TEL 078 22-2926



VIVAビバ・VIVA KITANOビバキタノ・VIVA VIVA KITANOビバビバキタノ。どの名で呼んでも結構。坂の北野町いろりやの2軒山側にグァイオレット色のガラスの扉を押すと、デンマーク調のシックなインテリアに、10人がゆくり並べるカウンター。かけ心地の良い椅子。この店の主は「アキ」と「キョーコの美人姉妹」。新谷明子（姉）さんは飛鳥に1年半。妹の京子さんは吉野に4年。その二人がそろって新しく8月1日にopenした。

アキはお酒が恋人、キョーコは踊りが恋人（花柳五雅の芸名あり）という飲むほどに楽しい姉妹。北野町にまたムーディな店が1軒生まれた。ビール小 200円、オールド水割 300円、つきだし 100円、ビバスーブ 200円。店の前に駐車可能。



## DRINKING

## CLUB

# ジャルダン

神戸生田区中山手通1丁目111  
TEL 078 33-8589



ジャルダンといえば花園という意味だそう。生田新道の大陸飯店のところを山側にはいると向って左側の並びの2階にこのクラブがある。

名前どうりかなり賑やかな雰囲気のお店である。ここのマスターは岩戸秀能君通称「岩ちゃん」である。岩ちゃんは気のおけない神戸っ子だからお客さんもなんとなく気楽な調子で歌って飲んでいる。

ちゃんと伴奏をギターやアコーディオンでこなすのが岡部公三君である「ここでは理屈抜きで楽しんでいただけるようにしてます」と岩ちゃんの言葉である。

ジャルダンの女性群はバラエティに富んでいるから、二次会にはもってこい。バーテンダーは菅田弘君、みんなおとなしい店である。





# ボケツトジャーナル



## ★日本初のコンテナ船

「箱根丸」処女航海の途へ  
わが国初のフル・コンテナ船「箱根丸」(一六、二四〇総トン)が八月三十日、神戸港摩耶埠頭からコンテナ三百一個を積み、処女航海の途についた。同船は途中東京港品川にたちより、さらに四百五十個のコンテナを積んで、北米に向った。コンテナ輸送にはコンテナ・クレーンやコンテナ・ターミナルなどの港湾設備を要するが、荷役の敏速化とコストの通減化、また、港における停泊日数が少な



いほどより効率を上げる原子力船を考えれば、将来はコンテナ輸送が常識となるであろう。

すでに大西洋、米国沿岸ではコンテナ輸送が本格的に行なわれており、太平洋へも来年からコンテナ船が続々と就航する。ドア・ツウ・ドアの海陸一貫輸送の主役であるコンテナ船が将来の日本商船隊を担うことになるであろう。

## ★神戸市に待望の文化会館

神戸在住の各分野の文化関係者と呼びかけて「神戸文化をすすめる会」を結成したのは一昨年の春。オリエンタルホテルで最初の会合を催し、すぐその足で実行委員は金井知事を訪問、県立美術館建設について希望を述べた。一方、市に対しても神戸市にはない文化会館を建設してもらいたいと、本会実行委員、津高和一、陳舜臣、田中健一郎、十河巖、貝原六一氏らが度々宮崎助役を訪れて文化会

館建設についての市民の希望を伝えた。

その後、市当局者の努力によって文化会館建設の話が急速に進展し、去る七月三十一日には市主催の「文化会館についての意見を聞く会」が開かれ、実行委員の小倉敬二、貝原六一、十河巖氏らからも音楽、劇、美術の三位一体の立場から美術の小展示場も附設してもらいたいという市民としての希望が具陳されるなどはこびとなった。

## ★秋に開く「今日の詩祭」

詩の定型を破ることは、詩の発表の形式を破ることに通じる。

十月二十七日(日)午後一時より延々四時間、県民会館特別会議場で、「今日の詩祭」が開かれる。市民同友会の君本昌久氏・蜘蛛片桐ユズル氏・阿木五郎氏

が中心となつての企画。「詩祭」の構成は三部に分かれていて、一部は、詩を朗読することについての問題提起とデイスカッション。二部は、十三日に発行される詩集「今日の詩」を媒介としての朗読。三部は一部・二部の現代詩を中心とした定型を超えた対照的な、言葉を音声化したさまざまな劇を演じる。フォークソング、浪花節をも混ぜた祭的要素をもったクラ

イマックスである。

## 誕生日 ありがとう 運動



## ★「この子らを世の光に」の映画完成

みなさんからお寄せいただいた献金の第一回目の便送で、全国的使途六十万円の中の三十万円を贈呈した系賀一雄氏原作の「この子らを世の光に」の映画化は、名古屋あさみどりの会で進められてきました。あさみどりの会伊藤芳文氏らの熱情により資金難にあえぎながらも、ようやく完成のはこびとなりました。

精神薄弱児、特に重症の子たちが生きていくために努力の姿が、いきいきと描かれた映画で、十六日の白黒上映時間は三十分。十月初旬には、名古屋で公開され、いづれ神戸でも上映する機会がもたれるでしょう。

なお、このフィルムは価格三万五千円でおわちしますので、ご希望の方は左記の事務局までご連絡ください。

事務局 神戸市荻合区小野柄通二の五 青陽養護学校内  
誕生日ありがとう運動事務局  
電話 〇一五五九



垂水区狩口  
台に青陽養護  
学校の新校舎  
(写真)が完  
成しました。  
九月三日から  
兵庫区以西の  
生徒さんは新  
校に通学して  
います。

詩を語るのではなく、肌で感じる集いに参加を希望される方は、市民同友会内、君本昌久氏まで

TEL 391-四三〇六

### ★明治百年記念芸術祭に 御殿儔の会参加

兵庫県文化賞を受けた「御殿儔の会」が、受賞にこたえて芸術の秋に十月七日(月)午後二時から東京大手町の日経ホールで、明治百年芸術祭参加「御殿儔の会」を上演する。

参加作品は、箏曲「雨夜の月」と地唄「こすのと」を家元の松本尚女師が儔う神戸からは初の芸術祭参加作品。尚女師は「県文化賞」を受賞したことを励みに、東京で開くのですが、最近

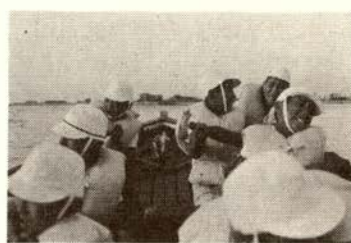


芸術祭参加は参加までに資格をとわれ、その上で参加できることになったのですから、古典で勝負したいと思っています。」と意欲的です。また尚女師(写真)をはじめ、松本尚丈、尚巳、尚菁、尚純、尚子、尚久、尚工、尚凡、萩野せつ子ら十一人が神戸から上京出演する。

### ★俺たちや海の男

さる八月二十一日から二

十三日までの三日間、神戸商船大学構内の「進徳丸」において、生田区内の中学生を対象にした海洋訓練が



実施された。

これは、明るく健康な青少年を育てるため、礼儀を守り、規則正しい生活を行ない、忍耐力と互助協力の精神を学び、「団体生活のあり方」、「rippな生活態度」を養ない人格の形成に役立たせることを目的として、生田区役所の振興課にある生田区青少年問題協議会の主催でおこなわれたもの。

生田、楠、神戸各中学校から一、二年男子百二十名が参加、二泊三日の泊りこみで連日、大学の先生の船や航海に関する講義を聴いたり、大学のこわいお兄さん達の指導で、手旗、縄むすび、カッター訓練に汗を流した。

手つた、オールさばきはまだまだこころもないが、歯を食いしばって頑張

るさまは勇壮!? そのもの。食事時ともなれば非壮感!? さえ感じられる。頑張れ、海の男、神戸っ子。

### ★私だって登れます 神戸の老人富士登山

神戸在住の増谷隆一さん今夏富士登山を計画、皮靴とコウモリガサだけで念願を果たした。しかし、驚くなかれ、齢・81歳。しかも、大正9年に登って以来というから実にお元気。お孫さんと二人で八合目からエンヤコラ。岩肌をはって登って午前一時半頂上。一泊してご来迎を見る。

増谷さんは謡の名人。小堀遠洲流75年という。早速奥宮の浅間神社に神歌奉納「蘭曲の富士登山」と自作「阿寒まりも」。



### △歌一首▽

二ツ折れ岩間はいつつ富士登山、神の御前に謡ううれしき  
これから高野山に行くのです、とは元気カクシヤク。

### ☆ドライバーメモ

川口陽之 (自動車評論家)



### 充電アンメーターについて

ダイナモ(発電機)が正常に発電して、バッテリーを充電している場合は、チャージランプが消えるようになっている車が多い(ダイハツ系は、チャージしている時は、チャージランプが点灯する)。しかし、車種によっては、充電量がはっきり判るように「アンメーター」をつくりだしているものがある(たとえばトヨタベクトラウンなど)。

走行中に、このアンメーターの針がプラスの方に振れなければならないのに、たいていの場合、ほとんどプラスに振れていない。そのため、少し構造に強いドライバーは、自分の車は、充電してないのではないかと心配する。

しかし、これは心配しなくてよい。バッテリーに十分電気が蓄わえられていて、しかも、使用電気が少ない場合は、アンメーターの針は、ほとんどプラスを指さないのが正常である。自動車の発電機には、レギュレーターという充電量調節器がついていて、消費される電気の量がだ充電するようになっている。

あまり針がプラスを指さないのは、どうしても心配になる人は、ヘッドライトを点灯して、消費電気を大きくして、エンジンをふかしてみてください。アンメーターの針は、プラス〇〇アンペア以上には振れる。これで正常である。



★神戸っ子歌手

「三宮ブルース」を唄う

最近、神戸をテーマにした歌謡曲



があいついで発売されている。一つは森進一の「神戸の夜」。もう一つはキングレコードの新人歌手浜麗子が唄った「三宮ブルース」。神戸に住む浜さんは昨年6月宝塚歌劇団を退団し、吉田矢健治師にレッスンをうける。程キングレコードから「三ノ宮ブルース」と「海のバラ」(石浜恒夫作詩・吉田矢健治作曲)でデビューした。唄に唄われそうで唄われない神戸の街。ヒット曲にな

ってほしいもの。

★「道具のない家」

―高橋由紀夫第一句集―

俳句は研ぎすまされた私性の産物である。句集は、著者・高橋由紀夫氏が足と眼で描く世界の産物だ。



大正8年神戸生まれ、昭和10年、久岡杏甫子の指導により俳句入門。現在は、青玄無鑑査同人。兵庫県立工業学校のクラスメートで

ある伊丹三樹彦氏らと共に俳句の道を歩んでいる。

兵庫県労働部勤務。著者が自ら物語るように、「日本中どこにでも見られる平凡な人生、平均的サラリーマンの中年のアンニユイ」を終始描き、その中にも、妻俳句はキラリと光る。

つーんと冬晴  
ひたすら小鳥溺れの妻

この日常性の自己閉塞は美しさを詩っている反面、哀しさを知らされる。そのことは、たむら・ちせい氏の解説が由紀夫俳句を理解させてくれる。

あの昏れかかる森へ  
消えたるか  
鴉で

(青玄俳句会刊・五百円)

なることもはっきりしたのだ。

いまにして日本の「自由」な立場を思い返すことが出来る。

戦後、民主主義のもとにもたらされた「自由」は際限ないほどのものであったことを更めて知る思いである。

民主主義国家の自由のよさを日本は満喫した。統制国家の暗黒時代を知っている戦前派や戦中派の年代の人びとは、少なくとも「自由」の尊さを肌で知る機会があった。しかし、戦後に育った若



「自由」は大切なのだ

ソ連のチェコ進駐事件は日本に大きなショックを与えた。

このチェコ問題で、力の強い国はいざとなれば堂々と正面切って、小国を侵略してしまうことを証明した。そして、チェコの希望した自由はなく

者たちは「不自由」ということの経験がないし、実際の戦争体験もない。

だから「自由」を確める尺度を知らない。

思考はあっても実際に「不自由」というものも体験がない。

チェコ事件を見て、戦前派や戦中派は、やはりそうだったのか、という思いがある筈だ。

「自由」の大切さを知っている人びとは「自由」の尊さをしっかり伝達しなければならぬ、これが「自由」を守ることになる。

△YV

★コウベ

ムービーコーナー

『めざめ』

十八世紀フランスの豪華なシャトウを舞台に、女にかけてはまったくウブな青年パンジャマが、恋にかけてはベテランの大人たちから恋の手ほどきを受けるという品のいいエロチズム漂う風流な物語。ドヌーブは清純で無垢な少女を演じて彼女の魅力を一〇〇パーセント発揮しているが、最後にアブと驚く女の魔性を演じて見せる。



この若い清潔な恋人たちに、恋の手ほどきをさすけようと思愛遊戯を演じる優雅な男と女たちには「霧の波止場」「田園交響楽」などフランス名画とともにフアンには忘れられない大女優ミシェル・モルガン、「軽度」「機物の分け前」「昼顔」でいまや売れっ子の演技派ミッシェル・ピッポリ、「女は夜の匂い」のオデル・ベルソフ、新進グラマー、アンナ・ゲル。そして「昼顔」でドヌーブに一途な夢を捧げるヤクザを演じ、その特異な個性で新しいタイプの二枚目として注目されている新進俳優・クレマンティエが、主人公のパンジャマンを演じておりフランス映画の代表スターを一堂に集めた豪華キャストである。

△十月中旬 新聞会館 大劇場にてロードショー公開

★屋外物広告看板・プラスチック看板製作  
東亜広告株式会社

葺合工場・階上★地区の会会場

# 長谷川会館

取締役社長

長谷川忠義

神戸市葺合区旗塚通3丁目1番地  
TEL 0237-2875-9137  
<22> 1272  
<23> 0237-2875-9137



リンゴ酢と蜂蜜で

腕をふるった

新しい「味」

このおいしさが

美容と健康にプラスします

神戸三宮生田ノ杜ノ西

半又の鮎

電話・三の宮 ③③ 0935



# 非惡心童 物語

足立卷一  
え・津高和一

ぼくたちは「惡童」ではなかった。  
しかし「善童」でもなかった。

13

鳥カゴ

もつとも血縁の濃いその寺でのくらしも長くはつづかなかった。お盆は寺で迎えた記憶があるから、寺を出されたのは夏休みの終りごろであつたらうか。

ぼくが引き取られたところは、寺町につづく鍛冶屋町のはしの染物屋であつた。間口は二間ほどの狭さで、家は奥に細長くのびてはいたが、それとても階下は六畳に四畳半ほどの小ささで、広いお寺にくらしていたのにとさら狭く感じられた。

その家族は老人夫婦とその養子夫婦、三つの男の子、生まれたばかりの女の子、それにカズマという二つ年上の少年であつた。

その老人は、ぼくのじいさんのいとこということであつた。鼻に大きなホクロがあつて、いつもおだやかであつた。その妻という老婦人は名家の出だったとかいうことで、気品のある顔立ちをし、物腰もやさしかった。

養子夫婦とその子は二階に住んでいた。

養子は濃いチョビひげをたくわえ、精悍な目つきをしていた。あばれ者だということを聞いたことがあるが、ぼくにはきびきびした男らしさとしてむしろ好感を持つた。正月であつたと思う。養子は大きな扇子をひろげ、それに紙包みをのせ、「お年玉だ」といってぼくとカズ

前号まで ぼくは大正二年、東京に生まれた。父は新聞記者だったが生後二カ月で急死。母は実家に帰り、じいさん、ばあさんに育てられる。小学一年のとき、ばあさんが死に、その遺骨を持って祖父母の故郷長崎に引きあげたが、ほどなくじいさんも死んで親戚の寺にあずけられた……。

マとにくれたことがある。五十銭はいついてびっくりし、よけい養子が好きになった。その妻は小柄な女で、青い顔をして洗たくや台所仕事に精を出していた。

老人と養子とは朝食をすませると大きな紺のふろしき包みを背負ってどこかへ出かけ、夕方帰って来るのがつねだった。得意先をまわって注文をとって歩いていたらしかった。

その同じ時刻、ぼくとカズマとは学校へいく。カスリのひざまでのキモノに前かけをつけ、坂をくだって石橋をわたり、また坂をのぼって新町小学校へかう。

カズマは足のうらまで色の黒い少年であつた。その家とどういう関係があるのか、こどものぼくにはわからなかった。親戚でもなさそうであつた。両親に死なれて困っているのを老夫婦が引き取ったらしかった。姓はナスといった。那須一馬と書いたのだろうか。ぼくにはサム



ライのようなその名がおかしかった。

カズマは手工が得意であるらしかった。あるとき、竹を割って、切出し小刀で一本一本たねんに削って、鳥カゴをこしらえあげたことがある。かなり日数もかかったが、うっすら青みをおびてしらじらと光線を受けるその鳥カゴは、たいそう清潔で美しかった。

「カズマは器用ばい。とうしゃま（父）が大工さんじゃったけに」

老婦人がそういったような気がするので、あるいは大

工の子だったのかもしれない。

その鳥カゴは学校の展覧会に出品された。ほくもそれを見て誇らしい気分になった。ところが、もっと大きい鳥カゴが出ていた。しかし、その竹は洗いい張りに使うシンシをそのまま使って組み立てたもので、褐色によごれかえっているように見えた。ところが、それが一等賞でカズマのそれは三等賞であった。ほくにはそれがひどく理不尽に思われた。そういえば、カズマが竹を削っているとき、老婦人は「シンシを使うたら」といったことがある。染物屋だから、シンシはいくらでもあった。しかし、カズマはそれに答えようとせず一本一本竹を削った。

それまで、ほくは学校はニガ手であった。東京ではほくひとり、じいさんに一月以上も学校へついて来てもらった。長崎ではズル休みをした。それが、じいさんが死んで寺に引き取られてからは休みなしにかよったし、染物屋に移ってからは一日の遅刻もないようになった。そうすると何も勉強しなかったのに、学校の授業はたいそうやさしいもののように思えてきた。年齢差が表面にすぐあらわれる年ごろで、ほくはほかの子より一歳年長であったせいだろう。どんな先生の質問にもほくは手をあげて正解した。それで、いつのまにやら級長ということになった。

担任の内田先生はやさしかった。顔のひきしまった中年の婦人教師で、いつもエビ茶色のハカマをはいて、そのひもをゆたかな胸のすぐ下できりりと結んで垂らしている。

内田先生は用事で教室を出るとき、いつもほくに先生代理を命じ、教壇に立たせた。すると、やはりこともたちはさわぐ。あるとき、読み方の自習をするようにといっ、先生はほくを教壇に立たせて教室を出た。例によって連中はさわがしい。ほくがふと校庭に面した窓を見ると、そこに内田先生がじっと教室をのぞきこんでいるではないか。



先生はほどなく教室にあらわれると、連中を手きびしく叱った。そのとき、ぼくはこどもながら先生から特別の愛情を与えられているのだと信じて号泣したい思いになった。

学校がひけると、カズマは上級だったので帰りがおそく、ぼくひとり帰った。

道には細いミゾが沿い、青いコケでおおわれ、きれいな水が走っている。ぼくはそのミゾばかり見て歩く。すると、ふしぎに一錢玉をミゾの底によく見つける。さつと拾う。あるときには、青いコケのうえに五錢玉が奇跡のように乗っていた。ぼくはそれを拾うと、家に帰るなり養子の妻にわたした。彼女は信じられないといった顔つきをして財布にしまった。

下校の道が石橋にさしかかると、しばらくそこから川

を見る。きたない川で、それでも岸にはイチジクの木が葉をたらし、アヒルが群れをつくって遊んでいる。それをぼんやり見る。下校のときではなかったが、ある朝早くその川へ出かけたとき、大きなアヒルのタマゴを見つけたことがある。戦利品を得たように持ち帰ると、養子の妻はウデタマゴにしてくれ、家族でわけて食った。その大きなことに、驚嘆した。

学校から帰ると、子もりが日課であった。誕生まえの女の子をおんぶして、すぐ近くの寺へいく。そこには大きなイチョウの木が突っ立ち、その下をぐるぐる歩く。背中にあたたかいものがにじむ。すると、家へ帰って母親にあかンぼうをおぶったままつきつける。母親は子を背からおろし、おしめをかえ、ぼくの背におしつことウニコのあとをみると、キモノを着がえさせてくれるおしつこやウニコをきたないと思ったことは、一度も



なかった。むしろ、その黄色い汚物がべっとり背に塗りつけられているときは、誇りのようなものに充実していた。それをこれ見よがしに母親につきつけるのだった。そのとき、ぼくはたしかに何かを誇示し、何かに抵抗ししかも、養子の妻が母のように着がえさせてくれることに甘美なよろこびをおぼえたのだ。ふしぎに、そのときはもう犬にはえられては泣き出していた東京のころのぼくではなくなっていた。

夕食がすむと、ぼくもカズマも、老婦人も養子の妻もキモノをほどく。キモノの糸を一本一本抜くのだ。手バサミで糸のはしっこを切り、糸を引くのだが、古い絹物などでは糸が布にくっついていて、力を入れて抜くと縫い目がびりりと裂けてしまうことがある。そのとき、老人はたいてい長火鉢の前に座ってぼくたちをじっと見ているのだが、長いキセルで火鉢のへりをピシッと打ち、困ったという目の色を見せた。

ぼくたちは、こどもだったので、手バサミを持ったまま、よく居眠りした。ことに、カズマはしきりにコックリをした。そのとき、長キセルが鳴り、ときに「カズマ！」という声がとんだ。

キモノをほどくと自分の家で染め直すのではなく、全部京都へ送っているらしかった。京都には老人の弟にあたる人が大きな京染の呉服店をひらいていて、その支店代理店という格好だった。

その老人は、いま思えば無欲で、あたたかい人のようであった。カズマを引き取ったのもその人がらあつてのことだったろう。ぼくも老人につれられて道ノ尾という近郊まで遠足にいったことがある。どういうわけだったかは知らない。日曜の朝、おにぎりを持って出かけ、小川に沿う道を老人はぼくとふたりだけで歩き、川にフナの影響を見つけると「ほら」といって指さした。ただ、ぼくはなぜカズマもいっしょにつれて来てやらなかったかが不審で、不満で、カズマにすまないことをしたように思った。

一度だけ、奇妙な、こわい光景を見たことがある。夕がた、老人がやにわにハダシで表にとび出し、老婦人が悲鳴をあげてあとを追った。すると、二階への階段をばげしい足音が駆けおりてきた。養子が目を血走らせてあらわれた。その手には猟銃が握られている。

「うち殺しやる！」

それがどうしておこり、どのようにして納まったかは記憶していない。その事件があつてはどなく、見知らぬ軍人がぼくの前にあらわれたのだ。

老人はぼくを呼ぶなり「かあしやまのどこに帰ることになったとばい」といった。さびしそうな顔と声とであつた。その軍人は母のいとこにあたり、ぼくを神戸の母の実家につれ帰るために迎えに来たことをはどなく知つた。

そうして、ぼくはこんどは神戸へ移ることになったのだが、その日からはじめて長崎に帰つたのは徴兵検査のときである。十五年ぶりであつた。

あの新町小学校は青年学校にかわり、ずいぶん広いと思つていた校庭も狭いものだった。ちょうど夏休みのことで宿直の先生がひとりいるきりで、内田先生のことを何うと、職員台帳をひろげながら「十年前に死亡しとられます」と答えた。

老婦人は実家に引き取られ、腰がすっかり曲がついてた。「こきやんして養うてもろつております」と涙をぬぐい、養子の妻はぼくが神戸へ去るとすぐ産褥熱で急死し、それから養子の素行は荒れ、ぼくがおんぶしていた女の子をつれて家をとびだしたと語つた。老人もそれからはどなく他界し、男の子は母の実家に引き取られて中学生になり、カズマは一人前の大工になっていると述べた。

養子のゆくえはわからず、ある人が宮崎で女の子をつれて歩いている姿を一度見かけたと教えてくれたことがあるだけだそうである。

(つづく)





ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを！

## 三恵洋服店

元町4丁目 TEL ☎ 7290



Mr. Kent  
came to Kobe  
流行に左右されない  
本来のオシャレ  
それがKentです  
シックな  
スコッチ風の店舗  
それがFunakiyaです

オシャレ洋品の店

**フナキヤ**

元町3 TEL ☎ 333617



オシャレたセンスの  
舶来品が  
揃っています



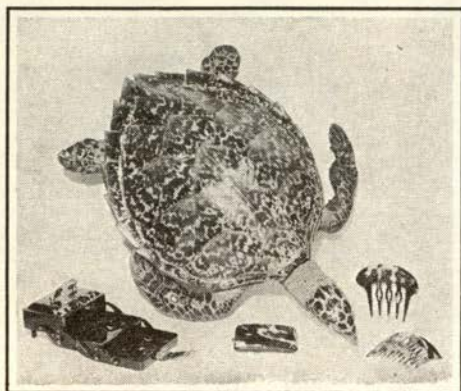
元町2丁目  
☎ 4707~8



高級紳士服専門店

## 神戸テーラー

さんちかメンズタウン TEL ☎ 0388  
生田区北長狭通2(阪急西口) TEL ☎ 332817・3173

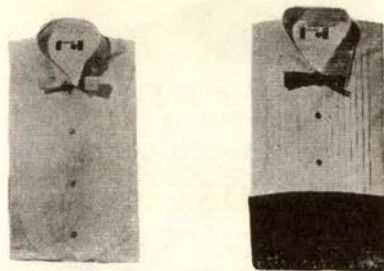


センスあふれる  
べっ甲専門店

**太田 鼈甲店**

元町1丁目 TEL ③③6195

KOBE SHIRT



よろず物 縫衣 縫上 處

**神戸 シャツ**

神戸店—神戸大丸前 33-2 1 6 8  
東京店—東急日本橋店1階 211-0511 内線219  
東急渋谷本店6階 462-3433

おすし  
てんぷら



**栄 彌**



営業時間  
A. M. 11.30 ~ P. M. 9

本店 大丸前・三宮 神 社 東  
TEL ③③ 5 5 7 7 2  
支店 さんちか味ののれん街  
TEL ③⑨ 5 2 3 3 3  
(毎週月曜日休み)



おもちゃのカメラ  
三宮方面でのお買物は……  
さんちか店 ファミリータウン  
三宮店 センター街大洋劇場東隣  
元町方面でのお買物は……  
元町店 元町通3丁目山側  
パンブウ店 元町通1丁目不二家前  
⑨⑧ ③③ ③③ ③③  
⑦⑦ ⑦⑦ ⑦⑦ ⑦⑦  
⑦⑦ ⑦⑦ ⑦⑦ ⑦⑦  
⑦⑦ ⑦⑦ ⑦⑦ ⑦⑦



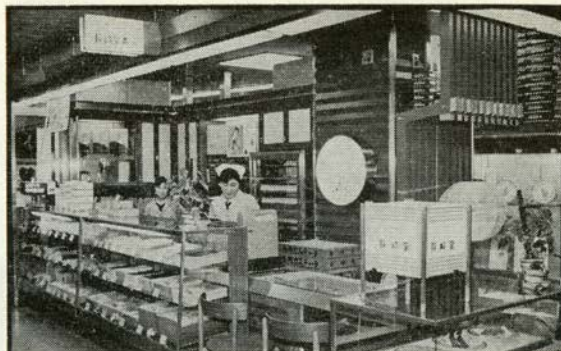
心なごむ日本人形の愛らしさを  
プレゼントに!





龍の井 龍井堂本家

神戸三宮トーア ロード  
本店 33-0001  
電話 南店 33-1616  
さんちかスイーツタウン  
電話 33-6532



ご贈答に風味豊かなカステーラ

## 長崎堂 本店

本店 = 人橋町5大五ビル (61) 0553-4  
新開地店 = 松竹座前 (56) 2423  
元町店 = 元町 6 (34) 4130  
さんちかスイーツタウン (39) 3625

The  
**Cosmopolitan**  
Valentine F. Morozoff

## コスモポリタン チョコレート・キャンデー

神戸本社	神戸市生田区三宮町1丁目170	電話 33-5304
神戸直売店	神戸市生田区三宮町1丁目	電話 33-1217
大阪堺筋店	大阪市東区淡路町2丁目	電話231-6979
大阪心斎橋店	大阪市南区安堂寺橋通4丁目	電話251-4182
東京銀座店	東京都中央区銀座8丁目	電話571-2303
東京新宿店	東京都新宿区角筈1丁目	電話352-2436
	新宿ステーションビル地下2階	
東京有楽ビル店	東京都有楽町	有楽ビル 電話213-2821
東京国際ビル店	東京都丸の内	国際ビル 電話212-3746

でんわ・  
32 32 33 一三七七一  
〇六三四  
〇六三五  
ムサシ

やっぱりうまい  
むさしのとんかつ  
ムサシ

mode saloon  
*mia*



mode saloon  
*mia*  
神戸・三宮センター街  
TEL 23-2376

創作ハンドバッグ  
工芸品 ORIGINAL

神戸 ■ 元町  
ACCESSORIES  
**イクシマヤ**

TEL. (33) 2415・2416

創業明治二十八年  
**履物の山下**  
古い老舗に新しいセンス

神戸 三宮センター街  
TEL 29 0256  
確実正札 完全冷暖房  
静かに品選びの出来る店



**大上靴店**

元町通1丁目 TEL 33・3962  
さんちかメンズタウン TEL 39・4627

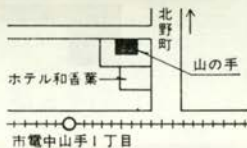




SNACK  
**YAMANOTE**

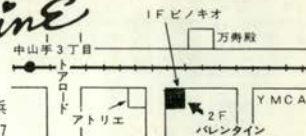
神戸市生田区中山手1丁目

ソネビル TEL 22-3637



Tea & Snack バレンタイン

*Valentine*



KOBE・中山手2丁目電停浜

YMCA 西 TEL 32-2967

神戸っ子のみんなに愛される落ちついた喫茶店

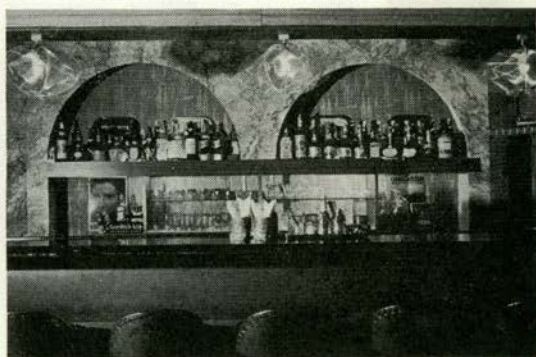


**ai**

TEA ROOM

喫茶 愛

★神戸・元町本通元一ビル2階 TEL (32) 0958



**グラムール**

生田筋・岸ビル地階 TEL 33-4637



洋酒の店 キャンテイ

**\*Chianti\***

榊 晴夫 TEL(39)3060

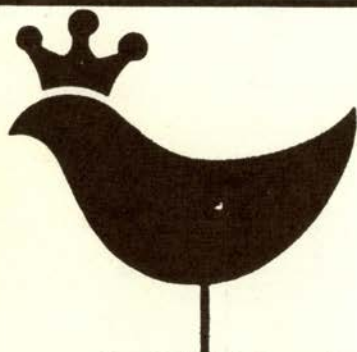
213KITANAGASA-DORI IKUTA-KU KOBE

*YB*

CLUB  
*Young Bell*

松田 真理子

生田・中山手2丁目89・光ビル1階 TEL 33-3052



CLUB 小万

生田新道相互タクシー上る

PHONE : 39—0638  
39—4386



洋酒の店

**OK**

小川 深雪

阪急西口下る 京町筋  
TEL <39> 1413